



議会だより

なよろ

平成 29 年
12 月定例会

第 47 号

平成 30 年 2 月 1 日
発行



目次

新年のごあいさつ	2
定例会で決まったこと	3
議決結果・意見書	4
一般質問に 12 人	5 ~ 10
市民福祉常任委員会行政視察報告	11
経済建設常任委員会行政視察報告	12
各委員会活動報告	13 ~ 15
議員協議会	13
きぼう・編集後記	16

題字 智恵文中学校 後藤 真(ごとう まこと)さん



新年のごあいさつ

名寄市議会議長 黒井 徹

あけましておめでとございませう。市民の皆さまにおかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日頃から議会活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、緩やかな景気回復が続いているといわれるものの、まだまだ地方においては厳しい社会経済状況にあります。少子高齢化がもたらす人口減少は、本市においても介護職員等をはじめ人手不足の状況は深刻な問題であります。また、北朝鮮によるミサイル発射や台風などの自然災害は市民生活に不安の影を落とすものであります。

一方で、名寄カーリング協会、名寄ジュニアクラブが日本ジュニアカーリング選手権大会で優勝し、世界大会出場を決めたことなどは、私たちにとって大きな喜びであり、本市の冬季スポーツ拠点化プロジェクトが動き出している証しでもあります。

名寄市議会では、市民に信頼される議会を目指して議会改革に取り組んでおりますが、これまでは常任委員会の機能強化や議会活動の市民周知の充実等に取り組んできています。昨年から議会報告会を年2回開催することといたしました。時期や周知等開催方法に課題も残りましたが、10月に開催した議会報告会では参加者全員から意見をいただいた会場もありました。市民の皆さまからいただいたご意見を行政に伝えるだけではなく、議会としてしっかりと受け止め、協議することと報告会の実効性を高めていかなければならないと考えています。

今後は、名寄市議会基本条例の検証を行い、政務活動費や議員定数について協議し、議会の考え方がまとまった段階で、市民の皆さまのご意見を伺ってまいります。

議会の任期も最終年となりますが、任期の最後まで使命を尽くし、市民の代表機関として、その役割をしっかりと果たし、名寄市に住んでよかったと実感できるまちづくりに議員一同全力で取り組んでまいります。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、明るく健康で幸せな年になりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。

迎春

市民連合・凜風会

熊谷 吉正

佐藤 英靖

奥村 俊

高野 美枝子

佐久間 誠

山崎 真由美

浜田 康子

東 千春

佐々木 千寿

山田 典幸

東川 孝義

塩田 昌彦

黒井 徹

高明 伸典

高橋 伸典

日本共産党

川村 幸栄

新緑風会

大石 健二

無所属の会

川口 京二

名風会

野田 三樹也

議会日誌 10~12月

- 10/6 議会改革調査特別委員会
公の施設の使用料及び
利用料金等の見直しに
伴う関係条例の整備に
関する審査特別委員会
- 10/10 上川北部市町村議会議
長会定例会
- 10/11 議会運営委員会
- 10/12 北海道市議会議長会道
北支部議長会(富良野市)
- 10/16 ~ 19 議会報告会
- 10/18 議会報特別委員会
- 10/23 総務文教常任委員会
- 10/24 北海道市議会議長会道
北支部議員研修会(鷹栖町)
- 10/26 全国市議会議長会基地
協議北海道支部定期

- 10/27 市民福祉常任委員会
公の施設の使用料及び
利用料金等の見直しに
伴う関係条例の整備に
関する審査特別委員会
- 11/10 経済建設常任委員会
公の施設の使用料及び
利用料金等の見直しに
伴う関係条例の整備に
関する審査特別委員会
- 11/15 全国市議会議長会研究
フォーラム(姫路市)
- 11/21 全国市議会議長会建設
運輸委員会(東京都)
市民福祉常任委員会
公の施設の使用料及び
利用料金等の見直しに
伴う関係条例の整備に
関する審査特別

- 11/22 総務文教常任委員会
- 11/27 経済建設常任委員会
各会派代表者会議
議員協議会
- 11/28 公の施設の使用料及び
利用料金等の見直しに
伴う関係条例の整備に
関する審査特別委員会
- 12/1 議会運営委員会
議会報特別委員会
- 12/4 平成29年第4回定例会開会
議員協議会
- 12/5 市民福祉常任委員会
議会改革調査特別委員会
- 12/11 総務文教常任委員会
- 12/12 経済建設常任委員会
- 12/15 各会派代表者会議
- 12/18 各会派代表者会議
- 12/19 議会運営委員会
- 12/20 定例会閉会

平成 29 年 第 4 回 定例会 12 月 4 日 ~ 12 月 20 日

名寄市開業医誘致条例を制定 地域の医療体制の更なる強化を図る

平成 29 年第 4 回定例会は、12 月 4 日から 20 日までの 17 日間開かれました。会議初日には、第 3 回定例会で市民福祉常任委員会に付託されていた「名寄市開業医誘致条例の制定について」を委員会報告のとおり原案可決しました。また、特別委員会を設置して付託した「公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」は、委員会報告のとおり一部修正可決しました。

議案審議では、条例の制定・改正等 18 件、補正予算 6 件、その他 14 件、意見書案 6 件、報告 4 件、諮問 1 件を審議しました。

一般質問では 12 人の議員が市政について質問しました。

条例の制定及び一部改正等

名寄市開業医誘致条例

本市の医療関係については開業医の廃業等により身近で安心して受診できるかかりつけ医が減少しています。地域の医療体制の整備と強化のため市内に新たに診療所等を開設しようとするものに対し、診療所の開設に要する経費の一部を助成することにより地域の医療体制の充実と、市民が安心して適切な医療を受け健やかに暮らせることに寄与することを目的としています。

名寄市立総合病院の地方公営企業法全部適用関連条例の制定等

市立総合病院の地方公営企業法の全部適用に伴い、事業管理者の設置や病院事業職員の給与の種類及び基準など関係条例の整備を行うもの。全部適用により、事業管理者が選任されるなど経営責任と権限の明確化や人材確保のさらなる強化が図られるとし、今後の公立病院を取り巻く国の動向に対し、柔軟に対応できる体制を構築していきます。

主な補正予算

待機児童解消緊急対策事業費

喫緊の課題である待機児童の解消に向け、潜在保育士の就職促進のため保育士等就職支援給付金として 100 万円を追加しました。

教育委員会事務局一般行政経費

名寄産業高校酪農科学科の入学定員の充足と地域の基幹産業である農業担い手を育成する学科の存続のため道外からの受検者に対し交通費等の一部を助成する名寄産業高等学校酪農科学科受検者交通費助成金として 100 万円を追加しました。

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

上 西 静 枝氏（新任）
名寄市西 5 条南 5 丁目 27 番 地 1

公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

平成 29 年第 3 回定例会において、「公の施設の使用料及

び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」が提案され、特別委員会を設置し、付託されました。6 回の特別委員会を開催し、条例案の審議を行いました。条例制定の目的は、使用料の設定について統一的な基準がなかったことから、公の施設の使用料等に関する設定基準を策定し、利用者の公平性・公正性を確保した使用料等の設定を行うため。基本的な考え方は施設の維持管理に要する経費の負担、使用料については受益者負担を基本として設定することとし、子ども、高齢者、障がいのある方などへ配慮した設定とすることとし、提案されました。

委員会の議論の中で、シーズン等の高齢者の区分は、シーズンまたは利用期間中に 65 歳以上に該当する方を対象とするように統一すべきと意見があり、プールやスキー場などの当該施設の改正規定に「当該年に 65 歳以上になる者を含む」などの該当要件を加えた委員会報告のとおり修正可決しました。

平成29年第4回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
平成29年第3回定例会付託議案第24号	名寄市開業医誘致条例の制定について	原案可決
平成29年第3回定例会付託議案第25号	公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	修正可決
議案第1号	名寄市総合計画審議会条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市病院事業管理者の給与に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	名寄市病院事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	原案可決
議案第4号	名寄市病院事業の設置等に関する条例の制定について	原案可決
議案第5号	名寄市病院事業診療報酬及び介護報酬徴収条例の制定について	原案可決
議案第6号	名寄市立総合病院看護師等学資金貸与条例の制定について	原案可決
議案第7号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	名寄市議会議員及び名寄市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	名寄市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	名寄市一般廃棄物処理施設設置条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	名寄市都市公園条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	指定管理者の指定について（名寄市体育施設）	原案可決
議案第16号	指定管理者の指定について（ふうれん地域交流センター）	原案可決
議案第17号	指定管理者の指定について（なよろ健康の森）	原案可決
議案第18号	指定管理者の指定について（道の駅なよろ）	原案可決
議案第19号	指定管理者の指定について（名寄公園パークゴルフ場）	原案可決
議案第20号	指定管理者の指定について（天塩川さざなみ公園）	原案可決
議案第21号	指定管理者の指定について（名寄ピヤシリシャンツェ・体育センターピヤシリフォレスト）	原案可決
議案第22号	指定管理者の指定について（名寄市営牧野）	原案可決
議案第23号	指定管理者の指定について（名寄市母子里地区共同牧場）	原案可決
議案第24号	指定管理者の指定について（名寄市立食肉センター）	原案可決
議案第25号	財産の処分について	原案可決
議案第26号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第27号	市道路線の認定について	原案可決
議案第28号	専決処分した事件の承認について	原案可決
議案第29号	平成29年度名寄市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第30号	平成29年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第31号	平成29年度名寄市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第32号	平成29年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第33号	平成29年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第34号	平成29年度名寄市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第35号	名寄市特別会計条例の一部改正について	原案可決
議案第36号	名寄市職員定数条例の一部改正について	原案可決
議案第37号	名寄市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決
議案第38号	特別職の職員の給与の支給特例に関する条例の制定について	原案可決

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

29年度以降「産地交付金」の満額交付などを求める意見書
 主要作物種子法廃止に際し日本の種子保全の施策を求める意見書
 介護保険制度改正の見直しを求める意見書
 障害児者の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書
 診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書
 精神障害に対する助成の一層の拡充を求める意見書

一般質問



市民連合・凜風会 山崎 真由美 議員

魅力ある大学づくりを

問 国際交流への取り組みは

18歳人口が減少していく中、学生に選ばれる大学であり続けるために国際交流や留学生制度が有効と考えるが

答 学生確保も含め、国際交流は大学の魅力づくりにつながる。学内設置の国際交流センターを中心に全学的な推進体制を構築し、韓国の二大大学と交流協定を締結し、派遣、受け入れに取り組んでいる。

28年度は、韓国語短期語学研修の一環として10名派遣、韓国の大学からは日本語短期語学研修として14名を受け入れた。英語圏との交流は同センター内に委員会を設置し、体制の強化、充実を前向きに検討する。学生ニーズも把握しながら拡大を図っていく。

問 青少年への健全育成強化策を

ネット被害防止のための情報モラル啓発の取り組みは。

答 市内中学生の携帯電話

等の所持率が50%を超える中、学校では教科や道徳、総合的な学習、特別活動において発達段階に応じて指導している。

家庭ではフィルタリングを基本としているが、さらに被害防止に対する意識啓発が重要。

問 基礎体力育成を目指すスポーツ環境の充実は。

答 幼児期から運動に親しめる機会の充実については行政や民間の幅広い主体で行われている事業を一元的に周知、発信していくことが課題。できる事をしっかりやっていく。

他の質問・男女共同参画社会の推進について



魅力アップを目指す名寄市立大学



市政クラブ 東川 孝 義議員

魅力あるまちづくりを

事業承継の施策構築を

問 市内商工業の事業所数、

従業者、販売高の推移は。中小企業振興条例に追加された、事業承継に向けた取り組みは。

答 平成21年〜26年までの5ケ年の統計では、事業所数は、131事業所、従業者は256人の減少で、売上高も統計方法の差異はあるも、減少している。名寄商工会議所による事業承継に関する調査の中間データでは60歳以上の

経営者は64%、70歳以上は24%であり、更なる減少も予想される。昨年、国から示された事業承継ガイドラインを参考として、関係機関と協議し、施策を構築していきたい。

集客力アップの施策は

問 サンピラー温泉の整備に向けて、温浴施設・宿泊・スキーロジ・レストラン等、全体を通じての集客を含めた事業スキームは。また、日進地区再整備構想との整合性は。

答 温浴施設は老朽化に加え市民ニーズとのギャップも大きく、宿泊施設も合宿関係者等からの要望が高い機能充実が求められており、ソフト事業の充実も含めて検討を進めていく。日進地区のスキー場エリアにはピヤシリ山、健康の森・道立公園エリアには天文台など、活用できる資源施設も多くあり、関係施設の有効活用で、交流人口の拡大が図られるよう協議していく。

他の質問・まちづくり懇談会のあり方について



設備の充実と利用増が期待されるピヤシリフォレスト

フィルタリング：インターネットなどで未成年にふさわしくない有害な内容のウェブサイトにはアクセスできないようにすること。スキーム：計画。枠組み。

一般質問



市住環境整備と技術者育成を

市民連合・凜風会 佐久間 誠議員

入居者の安全確保は

問 市営住宅の環境整備として立ち木からの落雪対策や、緊急車両通り抜けのため、屋根付き歩道の一部撤去はできないか。

答 立ち木は来春調査し、枝払い等行う。屋根付き歩道は車両などの通行を前提としたものではなく、一部撤去することにより構造上の強度不足が生じる恐れがあるため撤去は困難と考えている。

市営住宅空き室の活用は

問 市営住宅空き室を活用して大学生の入居をはかり自治会活動に参加してもらう「目的外使用の柔軟化」の取り組み事例があるが、本市でも試行できないか。

答 名寄市の市営住宅の入居倍率は5年平均で4・3倍と高く、待機者への早期提供を基本と考えている。潜在的待機者への住宅供給が行き渡り、目的外使用などが必要と

なる場合は大学生のニーズを把握するなど、状況にあった対応の検討と情報収集に努めたい。

建設技術者不足の解消を

問 社会資本整備総合交付金の減少で建設産業の衰退、働き手流出となっていないか。一般財源の充当比率を高めてはどうか。

答 市全体の財政状況を勘案しながらバランスを考慮し、事業量を増やせるよう予算確保に向け努力したい。

他の質問・定住自立圏共生ビジョンの実効性ある取り組みを・老朽化舗装道路の凹凸解消

一般財源充当率を高め生活インフラの充実を



一般財源充当率を高め生活インフラの充実を



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二議員

特別会計の要否見直しを

問 平成30年度予算には、新たに教育費から分離した名寄市立大学特別会計（仮称）が加わる。大会計は平成2年度まで名寄短期大学特別会計として独立していた。しかし、翌3年度からは一般会計の教育費に組み入れられた経緯があり、新設・既存の特別会計について、3年から5年ごとにその要否を見直す考えは。

答 下水道事業特別会計を平成32年4月までに公営企業会計への移行を進めている。特別会計、企業会計の運営や経営状況を適切に判断するために時々検証は重要と捉えている。

一人暮らし高齢者の調査を
問 市は、65歳以上のひとり暮らしの高齢者の実態調査を行っている。高齢者が安心して健やかに生活を営むことができるよう、心身の状況や日常において困っていること

などの実態を調査し、地域で高齢者を支える仕組みづくりの推進を。

平成27年度国勢調査結果では、高齢者独居世帯は1658人で総人口の12・7%を占める。詳細を把握していないため、全体的な対策にまで至っていない。

他の質問・来春の市長選出馬について・30年度予算について・松浦武四郎の生誕等に関する関連事業について

ひとり暮らしの高齢者の厳しい生活実態が浮き彫りに



ひとり暮らしの高齢者の厳しい生活実態が浮き彫りに

国勢調査：統計法に基づいて行政の基礎となる人口・世帯の実態を明らかにする国の基本的な統計調査のこと。

一般質問



市長3期目の挑戦に期待

市政クラブ 東 千春 議員

市長3期目に向けて

問 名寄市を北・北海道の中核都市と位置付けた考えは、

名寄市の長期的展望と名寄市からの情報発信は。

答 道北地域の発展にも都市機能の維持・充実に努め人口減少対策も圏域連携で進めたい。公共施設の約半数が30年以上経過し、中長期的視点から更新・統廃合・長寿命化など計画的に進めたい。情報発信や収集の成果は芽を出しつつあり市民が誇りに思えるまちづくりに努めたい。

フィルムコミッション

問 映画「星守る犬」の経済効果と新たな映画製作への対応は。

答 撮影では滞在費、製作費で約3660万円、ロケ地観光は2年間で5200万円の効果と推計した。新たな映画製作には名寄フィルムコミッション協議会を設立し、市として事業推進を支援する。

移住定住について

問 都市部へ流出する若者

25歳から49歳のアンケートで約45%はUターンを希望している。市の対応の強化を。

答 地元の魅力や働く場所を知ってもらう工夫が必要。市のホームページ内の移住動画等の工夫やふるさと会などへの情報発信に努めたい。

子育て支援員の資格取得は

問 資格取得の講習会を名寄市で開催できないか。

答 旭川市との協定の中で進めるが、名寄市立大学とも相談する。



若者Uターンの支援を



人生百年時代への備えと構築

市政クラブ 佐々木 寿 議員

定年後の生涯学習受講奨励

問 高齢者大学の学生が減少傾向と聞くが、今後どの様

な取り組みをするのか。

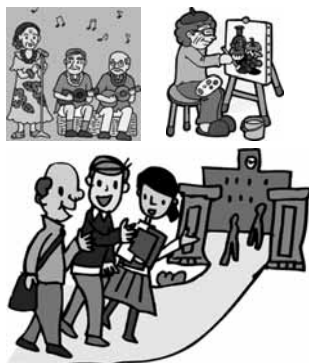
答 高齢者大学の卒業生は、町内会で奉仕活動や防災活動、ボランティア等で活躍しており、地域活動の活性化にも繋がっている。しかし、現在、ピヤシリ大学で50名、瑞生大学は95名、友朋学級は13名と学生の減少傾向にある。定年後も元気に働いていることも要因の一つであると考えて。「名寄ピヤシリ大学通信」を年間6号発行し、町内会に回覧するなど情報発信をしている。今後は各大学の特色を生かし、魅力ある大学づくりに努める。

生涯現役社会の構築と就業策

問 少子高齢化が進む中、高

齢者の労働力を活用していくことが重要と思うが見解を伺う。

答 本市においても少子高



生きがいづくりのための「趣味「活動」」
「学校」働く」場でのイニシアチブを

齢化、人口減少が急速に進みこれに伴い労働人口も減少し、労働力の確保が喫緊の課題であると認識している。市内事業所では高齢者の再雇用、定年延長し、若者に対する技術指導等取り組んでいる実態もある。アンケートでは、人材不足の対応策として、高齢者の採用が必要と答えた企業は1割だった。今後も高齢者が労働に限らず、生きがいをもって健やかに暮らしていただくよう、関係機関と連携しながら各種施策に取り組んでいく。

他の質問・子育て支援の推進
・空家バンクの取り組み

フィルムコミッション：映画やテレビ、CMなどの撮影を誘致し、撮影がスムーズに行われるように支援する組織。
イニシアチブ：物事を率先してすること。主導権。

一般質問



安心安全な雪対策

市民連合・凜風会 高野 美枝子議員

今冬の雪対策について

問 大雪の時も対応できる雪堆積場の考え方は。

答 雪堆積場としての公園の活用について、タイヤショベルやダンプによる雪搬入は器物を損傷する恐れがあるため認めていないが手押しのダンプは了解している。来年度以降に市街地近郊に新たな大型の雪堆積場を開設し、出来る限り有効な除排雪を行い市民の要望に応えたい。

問 通学路の確保や見通しの悪くなっている交差点の対策は。また、高齢者や障がい者に対する除雪の配慮は。

答 通学路や交差点除雪については道路パトロールや市民からの情報提供を基に現地確認を行い、状況を見ながら運搬排雪を行っている。高齢者を対象とした支援制度については名寄市高齢者自立支援事業条例に基づき、名寄市除雪サービス等助成事業を実施



積雪深平年2倍87 (12月19日)

している。今年度から屋根雪下ろし中の転落などによる事故を未然に防ぐために費用の一部を助成している。

問 今冬から開始する市が町内会の自主排雪に無料で重機等を貸し出す「レンタル&ゴー事業」は作業運転手の確保が町内会では困難との声があるが。

答 今年度事業を実施した町内会から聞き取りを行い本年度に反映できるよう検証する。

他の質問・高齢者への支援について・子ども子育て支援について



60歳以上の転出を防げ!!

市民連合・凜風会 佐藤 靖議員

楽観視できない財政見通し

問 平成30年度予算編成にかかわる市長訓令は、例年にも増して厳しい内容となつている。財政の展望をどう捉えているのか。

答 一般財源収入の減、公債費増、老朽化施設対応など、財政運営は楽観視できない状況だ。

高齢者にやさしい町を

問 合併から約10年間で、60歳以上の市民が1473人転出している。特に、ここ10年ほどは150人前後で流出が続いている。転出にはさまざまな事情があるが、地域では高齢者が高齢者を支援したり、敬老会では祝う方も祝われる方も高齢者というのが実態。これ以上、60歳以上の転出が続けば確実に地域コミュニティの崩壊につながる。転出の理由が雪対策を含め、安心して暮らし続けることができない、ということならば問題。

答 転出のくい止め策には、さまざまな方策が必要。名寄市の良さを生かし、総合的な移住定住対策を進める。計画はしっかりと市民に理解されるように努める。新たな機構は研究したい。

他の質問・名寄市立総合病院の将来像について



高齢者になっても安心して暮らせる名寄に

一般質問



強い農業を見据えて

市政クラブ 塩田昌彦 議員

強い農業基盤の整備を

問 農業労働者の確保対策

と環太平洋連携協定(TPP)やE.Uとの経済連携協定(EPA)の影響と対策について。

答 農繁期における労働力不足の解消について、短期的な取り組みとしてスポット的な労働力の確保に向け大学生など農業未経験者を対象とした農作業従事者の条件整備などのシステム構築等の試験的な取り組みと、中長期的な取り組みとして地域の作業受託組織等による地域を超えた横断的な取り組みの検討と雇用環境の整備に向けた法人化の推進などを実現に向けJAとの協議を進めている。

TPP等により、豚肉や牛肉、乳製品の段階的な関税の引き下げや撤廃など、酪農・畜産農家に与える影響は大きく、国の総合的な対策であるTPP等関連政策の情報収集と取り組み支援を行う。産地



TPPIによる影響が懸念される酪農

パワーアップ事業や畜産クラスター事業の導入など国の制度を活用し規模拡大等に必要設備整備に取り組む。牛や豚の経営安定事業による所得補填等、経済状況の変化に対応した取り組みの実施を行う。また、育成牛の育成センター設置に関しては、速やかな意向調査を実施し、JAや関連機関と連携し協議を進める。なお、本市独自の支援策については、推移を見守る。

他の質問・子ども育て支援について・公共建設工事における入札参加資格登録について



利用しやすい市立総合病院を

公明 高橋伸典 議員

待ち時間対策と快適性の充実

問 医療に関する意識調査

では、受けた医療に満足していないと回答した人の44・4%が待ち時間を原因にあげている。病院の待ち時間は心理的にも不安であり対策を。また、乳幼児と来院する方も多く、トイレにはベビーカーの設置が必要では。

答 市内内科医院閉院等の影響により、内科系診療科では実患者2%程度増加している。待ち時間対策は他の同規模病院の取り組み例などを参考に外来待合スペースにテレビモニターを設置やアメニティの充実で負担の軽減に努めたい。地域医療機関の役割分担が明確化することで、生活習慣病などは「かかりつけ医」が診療を行い、外来患者が減少し、待ち時間軽減が考えられる。ベビーカーは、利用の多いトイレの男女1室ずつの設置を検討している。

快適な除排雪体制を

問 本年度の除雪出動基準

と交差点の見通し確保の対策は。

答 国道、道道との基準に差はないが、市道は除雪延長が長く、出動判断のタイムラグで名寄地区のみ出動できない場合も起こり得る。交差点対策はパトロールや市民からの情報提供により危険個所の解消に努める。また、道からの払い下げ機械の購入により、道路センター職員による直営での積み上げ除雪が可能となり効率的で効果的な除排雪事業に取り組む。



小さな子どもと一緒に安心して受診できる設備を

。アメニティ：心地よさ、快適性。そのような設備。

一般質問



宗谷本線の維持・存続

市民連合・凜風会 奥村英俊 議員

存続の確約を

問 「JR北海道再生推進会議」の声明に対して、宗谷本線の存続確約について、特急の直通化、マイレール意識についての市長の見解を。

答 宗谷本線活性化推進協議会での議論開始当初から存続を前提とした議論を進めてきており北海道・JR北海道とも協議し、年内に協議会としての方向性を示す。特急の直通便の復活は当然要望していく。提案いただいた利用促進や利便性向上については、2次交通の接続確保など、マイレール意識の醸成も必要と考えており、今後効果的な啓発・利便性向上につながる研究を進めていく。

適正な人員配置

問 市役所の職場から「年々事務量が増えている」「人員が不足している」という声が聞かれ「市民対応の低下」も指摘されているが、人材育成

についての考えを問う。

答 行政サービスの低下を招くことのないよう、職場の意見を聞きながら必要な人員の確保と、業務量に合った適正な人員の配置に努めているところであるが、全体的に非常に若返っており経験の浅い対応が「市民対応の低下」を感じさせている部分があり、各種研修だけでなく互いに教え合う中で知識や情報を共有化し人材を育てる雰囲気作りを努めたいと考えている。



札幌 稚内間の直通化が求められる特急サロベツ



安心の保険・医療体制を

日本共産党 川村幸栄 議員

来年度からの国保税額は

問 来年度から、国保の都道府県単一化がスタートするが、未だ詳しい内容が国民に知らされていない。市民からは不安の声が上がっているが。

答 11月に国の仮係数を使った本算定が公表されたが、現行の保険税率による国保税収納額では賄えないことが想定された。現状では具体的な数値を知らせることが困難。

問 どこまで決まり、何が決まっていないのか、なぜこんなに決まらないのが市民の思い。いつはつきりするのか。

答 スケジュール的には年明け2月上旬になる予定。3月議会には提案したい。

名寄東病院の役割について

問 市内の内科医不足解消の取り組みが進んでいるが、名寄東病院もなくてはならない病院として慢性期医療やかかりつけ医としての役割など機能強化を考えるべきでは。

運営は厳しいが、検査機能の向上、外来診療や健康診断の受け入れ拡大を図っている。

答 病院事業改革プランの中では、地域に根付いた医療機関として市立病院の後方支援病院としての役割をうたっているが、今後の方向性は。

答 来年度の診療報酬改定を注視し、上川北部医師会とも協議しながら検討したい。

他の質問・大学生への市営住宅の賃貸について・風連地区のマンホールの蓋をカードに



風夢くんをデザインした風連地区のマンホールの蓋をマンホールカードに

市民福祉常任委員会視察報告

東京都世田谷区、宮城県仙台市、
宮城県登米市、岩手県宮古市

11月6日から9日まで4か所の行政視察を行いました。

東京都世田谷区の国立成育医療研究センター「もみじの家」は重い病気を持つ子どもと家族を支える医療型短期入所施設です。支援体制は看護師、保育士等の有資格者が、0歳から19歳までの子どもの医療的ケアや日中集団保育、食事や排せつ、入浴等の生活



重い障がいのあるお子さんも楽しい入浴時間を過ごすことのできる設備が整っている(世田谷区:もみじの家)

介助のサービス提供を行っています。「もみじの家」をモデルに医療と福祉、看護と介護の垣根を超えた新たな仕組みが必要であると感じました。



高齢者が「支えられる」だけでなく、社会を「支える」役割を担うことができるように取り組みを進めている(仙台市)

宮城県仙台市の「地域住民のやりがいを引き出す自主的な介護予防グループ支援の取り組み」では、高齢者の社会参加・生きがいづくりとして高齢者が「支えられる」だけ

でなく、社会を「支える」役割を担うことができるようにと、長期間多くの取り組みを積み重ねていました。取り組みを支えるためには行政の持続的、継続的な支援が重要であることを再認識しました。

宮城県登米市の「登米市立米谷病院における医療型短期入所モデル事業」では医療型短期入所のための病床を常時1床確保し重度心身障がい児者の短期入所を受け入れています。施設面や看護師の体制等十分ではない状況のもと地域医療に携わる病院スタッフの「人々の役に立ちたい、希



施設面やスタッフ体制など課題を解決しながら医師、看護師、職員らの熱意により実現した(登米市立米谷病院)

望をかなえてあげたい」という使命感から事業を開始したとお聞きし、その熱意に感動を覚えました。

岩手県宮古市の「地域包括ケア会議構築事業」では、地域包括支援センター設置を日常生活圏域を基本区域とした中学校区で見直しし、地域ケア会議も同様に日常生活圏域単位で設置することで、個別レベルと日常生活圏域レベルとの相互、日常生活圏域レベルと市全域レベルとの相互という三層構造のネットワーク形成と課題検討が可能な地域ケア会議の全体構造が組み立てられていました。



東日本大震災や台風被害などの被災高齢者支援の推進も重要な取り組み(宮古市)

経済建設常任委員会視察報告

鳥根県松江市、鳥取県境港市、倉吉市

11月13日～16日に「第3セクターの指定管理による温浴施設の運営について」市内経済活性化の取り組みについて」をテーマに4か所の視察研修を行いました。

鳥根県松江市の「きまち湯治村」は、日帰り温泉等5施設を市の指定管理を受け運営しています。市からの補助金はなく、指定管理委託料と施設の収入で運営しています。他市での営業活動や市内の老人クラブへの営業等日常的な営業努力を重ねています。



第3セクターの指定管理による温浴施設の運営について学ぶ(松江市: きまち湯治村)



毎月の風呂の日などソフト面での誘客増の取り組みを行っている(松江市: 玉造温泉ゆうゆう)

松江市の「玉造温泉ゆうゆう」は日帰り入浴施設を市の指定管理を受け運営しています。市からの補助金、指定管理委託料はなく、指定管理事業と自主事業で運営しています。源泉配湯による収益が大きいですが、風呂の日の実施や「おんせん卓球場」の設置等誘客に取り組んでいます。2つの施設では、設置目的が明確。代表取締役等が常駐し取締役会によって運営方針を決定。集客、営業努力に全職員で取り組むなど参考となりました。

鳥取県境港市では観光資産・施設を活用した商店街活性化とまちづくりについて、水木しげるロード・水木しげる記念館の運営について研修しました。記念館の運営は市直営で行っていますが、年間約6千万円の黒字となつています。まちづくりの基本を継続的に推進することの重要性は、本市の中心市街地活性化においても参考となりました。観光事業では、経済団体等関連機関と行政が広域で推進する体制が確立され、この道北でも参考になる取り組みでした。



年間20万人が来館する。入り口には鬼太郎や砂かけ婆がお客さんを迎えている(境港市:水木しげる記念館)

倉吉市では、中心市街地活性化について視察しました。議員提案により市民生活の向上と豊かでくらしやすい地域社会の実現を目指す「倉吉市くらしよし産業元気条例」が制定されています。空き店舗対策や起業を目指す人たちを支援する「チャレンジショップ設置運営事業」が取り組まれており、本市の中心市街地活性化においても、地域産業の振興と市民生活の向上は関連し合うものであり、市民、事業者及び産学官金の意見を反映する場の設定や戦略等の目的を明確にし、目的達成の検証ができる体制が必要との認識を確認しました。



起業を目指す人たちへの支援など中心市街地活性化について学ぶ(倉吉市)

総務文教常任委員会活動報告

当委員会では10月23日に委員会を開催し総務部から名寄警察署用地として、旧営林署跡地の売却についての説明を受けました。教育委員会からは名寄産業高等学校受検者交通費等支援事業の新設についてと、平成29年度全国学力・学習状況調査の結果についての報告を受けました。

その後「名寄市立大学の将来構想（基本構想・基本計画・前期実施計画）」について佐古学長をはじめ各学部長、センター長、学部長及び事務局の



基幹産業である農業の担い手育成のため酪農科学科の存続を(名寄産業高校名農キャンパス)

出席を求め質疑を行い、理解を深めるとともに、意見交換を行いました。

11月21日の委員会では総務部から風連御料線の一部デマンド化に向けた実証運行について、名寄市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、男女共同参画表彰について、広報の在り方検討会について、宗谷本線活性化協議会の状況等について報告を受けました。教育委員会からは主な補正予算について、スケートリンクの位置については名寄南小学校は水質に問題があり、今年度は旧豊西小学校に設置し継続して場所の検討を行うと説明を受けました。名寄市立大学からは個人情報漏えいと対策について、また大学予算の特別会計化について学内で検討中であると報告を受けました。

平成29年第4回定例会付託議案第1号「名寄市総合計画審議会条例の制定について」

の審査を12月11日に行いました。委員からの質疑では審議会委員を30人にする根拠として産官学金などの代表を入れることを想定し、他市より多めの30人とした。まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会との関係では、同委員会を前倒しでいったん終了し、新しい総合計画審議会の立ち上げとともに一体化する。専門部会の運用については、委員会の構成が固まった時に部会構成について委員になった方と相談する等の質疑を行い、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



今シーズンは旧豊西小学校グラウンドに開設した市営スケートリンク

議員協議会 (11月27日・12月4日)

11月27日開催の議員協議会では、「名寄市総合計画審議会条例の制定について」となる温泉サンピラーについて」の説明を受けました。なよる温泉サンピラーの改修計画については、浴場の更新やサウナ、休憩室の拡張、客室内へのシャワールーム設置等、具体的な改修内容と、合宿関連の研修機能については、必要最小限にとどめ別途検討する旨、説明を受けました。

12月4日は、「総合計画(第2次)実施計画のローリングについて」及び「中期財政計画について」の説明を受けました。総合計画の実施計画事業については、社会情勢の変化や行政評価の結果などを踏まえ、見直しを行うことで実効性を高めるとしています。総合計画初年度のローリングとして、中期計画・総合戦略改定を見据えての数値目標を設定、公共施設等の更新・整備に向けた検討を共通検討事項とし、PDCAサイクルを意識して実施したローリング作業内容の説明を受けました。

市民福祉常任委員会活動報告

当委員会では10月27日、11月21日、12月5日に委員会を開催しました。市民部からは、名寄地区衛生施設事務組合が設置する広域処分場の平成30年4月からの供用開始に伴い、名寄市廃棄物の減量及び処理に関する条例等の改正について、健康福祉部からは仮称「名寄市待機児童解消緊急対策事業」について名寄市立大学の4年制化に伴い社会保育学科からは2年間卒業生が輩出されないことや、既勤務職員の転勤、離職等による欠員補充対策として「就職支援給



潜在保育士の就労支援を図り、保育士不足の解消を

付金」「宿舍借上げ支援補助金」「奨学金返還支援金」を検討中と説明がありました。また、来年度からの第3次障がい者福祉計画、第5期障がい者実施計画、第7期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画策定の進捗状況について、社会福祉事業団からは特養施設等の入所状況、介護職員の採用活動についての説明がありました。さらに、委員会では第3回定例会で付託された「名寄市開業医誘致条例の制定について」の審議で委員から、市立総合病院勤務医の開業による同院の機能低下を懸念する指摘や助成金決定の取り消し等の質疑を行い、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。市立総合病院からは、医療費の滞納による不良債権化している未収金の一部回収を法律事務所に委託すること及び駐車場整備完了に伴い全体で484台分の駐車が可能となった報告がありました。さらに、第



駐車場整備が完了し、来院者の利便性が向上

4回定例会で当委員会に付託になった市立総合病院の地方公営企業法全部適用に伴う関連条例（5件）について慎重審議を行なった結果、全会一致で原案のとおり可決しました。他に、10月に行った議会報告会で寄せられた要望中、当委員会に関連する「名寄市立総合病院での放射線治療を」について、同院に放射線科はあるが、全国的な専門医不足により実現していない。さらに10億円超の設備投資が必要との説明を受け、今後の大きな課題として再認識しました。

議会スナップ

12月15日智恵文小学校6年生社会科「わたしたちの生活と政治」の授業に議員の派遣依頼を受け、議会運営委員会山田委員長が派遣され市議会について説明をしました。学習問題は「なぜ、人々の願いが市議会で話し合われているのだろうか？」

市議会のしくみ、市議会議員の活動など写真を交え山田委員長から説明しました。

児童の皆さんのまとめには「議員さんは市民の人のために活動してくれるし、市民と市長の間という立場で両方のことを聞くのが議員さんのすごいところだと思っ」という意見がありました。

今後も児童の皆さんにも市議会に関心をもってもらえる議会活動を進めていきます。



市議会を身近に感じることで政治や議会に関心を持ってもらいたい

経済建設常任委員会活動報告

10月27日に開催した委員会では11月13日、16日に行う行政視察について鳥根県松江市のきまち湯治村と玉造温泉ゆづゆ、鳥取県境港市のさかなと鬼太郎のまち、鳥取県倉吉市の中心市街地活性化(チャレンジショップ)についての事前研修を行いました。

11月22日に開催した委員会では所管の事業について経済部から第3次食育推進計画について、名寄市肉牛繁殖センターの廃止について、名寄市住宅改修等推進事業について



整備の考え方が示された「なよろ温泉サンピラー」

10月末で交付決定が205万、交付決定額が3350万円、一般会計補正予算案について、平成29年度第1回産官金連携なよろ経済サポートネットワーク会議の開催状況について、名寄振興公社の経営状況となよろ温泉サンピラー改修に係る考え方の報告、フィルムコミッションの現状について報告を受け質疑を行いました。建設水道部から事業の進捗状況、市道路線の廃止及び認定について、名寄市都市公園条例の一部改正について、平成29年度道路除排雪実施計画について「昨年の状況から2週間契約を早めた」、専決処分した事件の報告について、第2回名寄市住宅マスタープラン策定委員会報告について、平成29年度第1回名寄市上下水道事業経営審議会経過報告について、水道事業会計補正予算案について報告を受け質疑を行いました。

12月12日に開催した委員会では、建設水道部から本日より



完成間近のサンルダム

り除排雪の作業が開始されたとの報告とサンルダム建設事業に関する計画変更があり、その内容説明と委員から「今後の計画変更及び災害対応は十分か」との質問に計画変更は最後と聞いている、災害対策は十分との回答がありました。その後11月に行った行政視察について意見交換を行い、視察で得たことを基に係機関との情報・意見交換を行う事を確認しました。

議会運営委員会活動報告

平成29年第4回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、12月1日と19日に委員会を開催しました。

12月1日の委員会では、会期を12月4日から20日までの17日間とすること、一般質問は12月18日に5名、19日に5名、20日に2名、合計12名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は36件、報告3件、諮問1件で、議案第1号名寄市総合計画審議会条例の制定についてを総務文教常任委員会に、名寄市立総合病院の地方公営企業法全部適用関連条例の制定の他、議案第2号から第6号までを市民福祉常任委員会にそれぞれ付託することを確認しました。

12月19日の委員会では、定例会最終日の議事日程等について協議を行い、追加議案2件についてと、定例会初日に総務文教常任委員会と市民福祉常任委員会に付託された議案について委員長報告を行うことを確認しました。

☆ き ぽ う ☆



We Serve(われわれは奉仕する)
 名寄市西6条南1丁目 今田 恭嗣

名寄ライオンズクラブは昨年8月に創立55周年を迎えることが出来ました。これはひとえに「ウイ・サーブ」のモットーのもとに諸先輩方の尽力と、多くの皆様にご理解、ご協力をいただいた賜物と思っております。

ライオンズクラブは1917年アメリカ合衆国シカゴ市でメルビン・ジョーンズが創立、現在は世界200の国と地域に142万を超える会員を擁する世界最大の国際的社会奉仕団体となっています。名寄ライオンズクラブに於いての奉仕活動は交通安全運動街頭啓発・献血協力・「赤い羽根共同募金」街頭募金活動・「青少年育成基金造成の集い」などを行っております。また、昨年は名寄市少年少女オーケストラヘチェロ4台、名寄市地域子育て支援センター「ひまわりらんど」へ遊具一式を寄贈しております。

今後も名寄ライオンズクラブが地域に必要とされるような奉仕活動に邁進する所存でございますので、皆様にはご協力よろしくお願いいたします。



名寄の若者の力
 名寄市西11条南4丁目 奥田 亮

19歳のときに名寄を離れ、25歳で帰郷し早や3年が経

ちます。6年間で街は大きく変わることなく、私が知っている住みやすい名寄でした。私は名寄ローターアクトクラブという30歳以下の若者が集う奉仕団体に加入し、名寄の街を今以上に良くしていくお手伝いをしています。現在、会員は私を含め7名と少人数で活動をしています。年齢幅が狭いので会員皆が和気あいあいと気兼ねなく議論をし、地域貢献を目指しています。他にも名寄にある他団体との交流や協力、ときには名寄を飛び出して他の市町村にあるローターアクトクラブとの交流もあります。名寄は若者の力がたくさん眠っていると思います。私も入会してから様々な出合いや行事があることを知り、また一つ名寄の魅力を確認できました。会員は随時募集していますので興味のある方はよろしく申し上げます。

表紙の写真は「名寄ピヤシリ剣道スポーツ少年団」です

名寄ピヤシリ剣道スポーツ少年団は、小中学生23名の少年剣士が週3度の稽古で汗を流しています。1月11日の稽古始めで、全員で元気よく鏡開きを行いました。

多くの先生の指導と父母の会のサポートをいただきながら、日々技術の向上に努め、春からの大会で良い成績がおさめられるよう頑張ります。



1年間の精進と飛躍を誓って

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。昨年末は大雪やホワイトアウト状態になり名寄市が全国ニュースで有名になりました。1月にはセンター試験当日の北陸の大雪、渋滞や追突事故等、恐怖を感じました。もうすぐ立春、暦の上では春ですが、日頃より十分な注意と備えを心掛けたいものです。スポーツで人間育成と世界平和を目的とした第23回オリンピック冬季大会が韓国平昌(ピョンチャング)で2月9日から開催されます。まさに雪や寒さを活かしたオリンピック、選手の手がさすの活躍を期待しています。これから各地で雪祭りが続きます。この地域の冬を十分に楽しみたいものです。議会報特別委員会では道内視察研修を活かし市民の皆さまにより読みやすい議会報と議論を重ねています。昨年「かわら版」として一般質問の日程や議員の質問要旨を市内公共施設等に掲示し、お知らせしています。ぜひご覧ください。(枝)

